

## 一般社団法人日本人間工学会第12回理事会 議事録

1. 開催日時：平成23年9月7日（水） 15:30～17:50
2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス5号館2F 524会議室
3. 出席者：
  - ・理事会構成員(27名・定足数14名以上)  
(理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)、阿久津正大(副理事長・表彰)、青木和夫(学術会議・横  
幹連・人間工学専門家認定・文科省科研費)、大久保堯夫、岡田明(財務)、垣本由紀子、  
小谷賢太郎、小松原明哲(編集・子どもの人間工学)、酒井一博(横幹連・企業の人間工  
学教育のあり方検討)、三林洋介(財務)、外山みどり(総務)、福田康明、堀江良典(国  
際.第3期選管)、吉武良治(広報・テレワークガイド) [14名]  
(理事兼支部長)：北村正晴(東北)、八田一利(総務・関東)、横森求(東海)、萩原啓(関西)、  
長谷川徹也(九州・沖縄) [5名] [計19名]  
(欠席者)：石田敏郎、大須賀美恵子(学術会議)、岸田孝弥、斎藤真、土屋和夫、富田豊、  
横山真太郎(北海道)、村田厚生(中国・四国)
  - ・監事：大内啓子
  - ・オブザーバー：藤田祐志(国際人間工学連合PSE)、横井孝志(ISO/TC159国内対策、研究倫理審査  
検討)、榎原毅(ニーズ対応)、河合隆史(第52回大会長)、栃原裕(第53回大会長)、  
村木里志(第53回大会事務局長)
  - ・事務局：栗田紀子、青木彩

### 4. 議事概要

定足数14名を超える19名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、阿久津正大副理事長が指名され承認された。

#### 【審議事項】

- (1) 第1号議案 2011年度公開講座に関する件  
斉藤理事長より、東海支部2011年研究大会及び三重県立看護大学と連携した形で公開講座2011を開催することが提案され、承認された。なお、他に公開講座の企画案があれば、事務局あるいは理事長宛に連絡する。
- (2) 第2号議案 2013年度の第54回大会長について  
斉藤理事長より、大会長候補者の推薦依頼があった。次回の理事会で決定すべく、心当たりがある場合は事務局、あるいは理事長宛に連絡する。
- (3) 第3号議案 2012年度の第53回大会における学会企画シンポジウム等について  
学会企画として、人間工学的視点からみた大震災・原発事故等をテーマにすることの適否が議論された。引き続きメール審議にて検討するとともに、他のテーマも募集し、次回理事会にて決定する。

## 【報告事項】

### (1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会 第 11 回理事会議事録、平成 23 年定時社員総会議事録  
メール審議を経て第 11 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。合わせて定時社員総会議事録についても確定した。

#### (1-2) 会勢報告(8 月末)

2011 年 8 月末現在、会員数 1864 名(4 月に比べ 15 名増)、賛助会員 35 社 36 口(同、1 社 1 口減)。

#### (1-3) 大会講演集の J-Stage への掲載状況

7 月下旬に第 51 回大会講演集(札幌・北海道大学)が J-Stage に公開された。第 52 回大会講演集(東京・早稲田大学)については、10 月末に公開の予定である。

#### (1-4) 賛助会員の特典について

賛助会員の特典が制定された経緯と現状について確認の後、全国大会及び支部大会への賛助会員の参加方法について議論があった。それらを踏まえ賛助会員の特典を総務で整理し、新たに文書化する。なお、各支部は、今年度の各支部大会では賛助会員に対し従来通りの対応を取ることとする。

### (2) 2010 年度報告及び 2011 年度計画について

斉藤理事長より、2010 年度報告及び 2011 年度計画については添付の資料の通りである旨、説明があった。

### (3) 東日本大震災及び原発事故に関する学会としての情報発信等

斉藤理事長より、IEA のニューズレターやホームページを通して発信された東日本大震災関連の種々の記事等の紹介があった。とくに、IEA ウェブサイトのトップページに、責任追及より原因究明が重要とした原発事故に対する安全人間工学的視点からの JES メッセージが掲載されたことは、JES としても画期的なこととして紹介された。

### (4) 財務報告

- ・7 月度収支は、ほぼ例年通りの状況であった。
- ・学会費振込の方法の一つとして、現在、コンビニからの振り込みの導入を検討している。  
実施には、概算では年間 20 万円程度の費用負担が必要である。
- ・IEA 年会費の支払いについては、予算に計上されている通り 50 万円弱を近々送金する予定である。

### (5) 第 52 回大会報告

河合大会長より、大会の概要(一般参加者 430 名、演題約 140 題)と、第 13 回日韓共同シンポジウム報告を学会 HP 及び人間工学第 47 巻 4 号に掲載したこと、さらに、現在、会計処理をほぼ終えている旨、報告があった。大会開催への協力に対し、改めて謝意が述べられた。

### (6) 第 53 回大会準備状況

柘原大会長より、大会ホームページを開設し逐次情報を掲載していること、特別講演、大会主催シンポジウム、市民公開講座、見学等を企画しているとの報告があった。

### (7) 担当・委員会報告

#### (7-1) 編集委員会

小松原委員長より、論文査読状況や「人間工学」誌発行状況について報告があった。本学会主催の学術集会報告が掲載できるような新たな枠を設けるべく、投稿規程の改定に向けて委員会

で検討するとの発言のほか、総説掲載について理事への協力要請があった。

#### (7-2) 国際協力委員会

堀江委員長より、下記の2件の報告と依頼があった。

- ・ IEA Secretary General の Prof. Eric Min-yang Wang と JES とのミーティングが8月1日に開催され、JES と IEA および台湾人間工学会との協力関係の維持、発展について話し合われた。
- ・ 2011 IEA Council Meeting in Grahamstown 議事録について、すでに理事会メンバーにメールにて転送したので、ご一読願いたい。

#### (7-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、メール審議後の修正を経た JENC 委員会規程及び内規が、本日付で承認された。なお、JENC 委員に若手の人材を登用したく、候補者の推薦をお願いする。

#### (7-4) 表彰委員会

阿久津委員長より、表彰委員会報告及び平成 23 年度優秀研究発表奨励賞の選考結果について報告があった。今後、グッドプラクティス関連の表彰制度を新規に創設すべく、広報委員会と協力し次回理事会に規程を提出する予定である。

#### (7-5) 人間工学専門家認定機構

青木機構長より、下記の4件の報告があった。また、理事会メンバーに対し専門家資格取得の勧誘があった。

- ・ 資格認定試験（A方式）を9月9日に実施する。
- ・ 2011年7～9月間の専門家資格登録者は3名、準専門家登録者は7名であった。
- ・ 会報 vol. 28 を8月1日に発行した。
- ・ CPE セミナーを12月上旬に大阪で開催する予定。

#### (7-6) 国際人間工学連合 PSE 担当

藤田 IEA 役員より、8月10～12日にサンパウロで開催された ABERGO/ULAERGO 会議にて IEA 代表として講義と基調講演を行い、メディアのインタビューを受けた旨、報告があった。なお、本会議は、ラテンアメリカすべての人間工学会が一堂に会した初めての会議。

#### (7-7) ニーズ対応委員会

榎原委員長より、4～5月の間に生じたオンライン入会不備に関して、経緯と再発防止策について説明があった。また、今後、本学会の web サイトに必要と思われるレベルに応じたセキュリティ対策を講じていく予定。

#### (7-8) 第3期選挙管理委員会

堀江委員長より、第3期代議員及び役員選挙の準備状況について、日程はほぼ前回の通りに設定したこと、また各選挙管理委員からは内諾を得ている旨、報告があった。

#### (7-9) 研究倫理審査検討委員会

横井委員長より、前回に引き続き本学会が研究倫理審査体制を持つことについて、公的研究機関、大学、企業に対して行った調査結果について説明があった。この件に関し、総務から理事会メンバー宛に意見の収集を行い、次回理事会にて結論をだす予定。

#### (8) 支部報告

(8-1) 北海道支部 特になし。

(8-2) 東北支部

北村支部長より、7月24日に「ヒューマンファクターの視点から見た東日本大震災」と題し、現場で直に活動した方を話題提供者としたH23年度第一回研究会を、安全人間工学研究部会、日本認知心理学会安全心理学研究部会との共催で開催した旨、報告があった。

(8-3) 関東支部

八田支部長より、12月10,11日、芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて開催される第41回大会および第17回卒業研究発表会について案内があった。現在、関西支部と同日開催であることを活かした企画を検討中である。なお、東日本大震災によりやむをえず中止した産総研デジタルヒューマン工学研究センター見学会を9月16日に実施する旨、報告があった。

(8-4) 東海支部

横森支部長より、10月29日、三重県立看護大学において開催される2011年研究大会では、公開講座を開催するほか、「企業との架け橋プロジェクト」による学生、大学院生の就職活動支援を実施する旨、報告があった。

(8-5) 関西支部

萩原支部長より、12月10,11日、神戸大学深江キャンパスにおいて開催される支部大会について案内があった。関東支部との間で、通信によるパネルディスカッションの共同開催が可能か、現在検討中である。

(8-6,7) 中国・四国支部、九州・沖縄支部

長谷川支部長より、11月26日、下関市において中国・四国支部と共同開催する支部大会に向けて準備中である旨、報告があった。

(9) 協賛等の依頼

8件の依頼について協賛する旨、理事長より報告があった。

(10) 今後の理事会日程（予定）について

平成23年12月、平成24年2月、5月、6月

5. 閉会

以上の議事を終え、17時50分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成23年9月7日

議 長 齊 藤 進 ㊟

議事録署名人 阿久津 正大 ㊟

議事録署名人 大内 啓子 ㊟